

2015年の最も優れたローカルCMを決める

「ぐろ～かるCM大賞 2015」発表！

ぐろ～かるCM研究所

テレビCMの戦略立案、コンサルティングを行う株式会社テムズ（東京都文京区、社長：鷹野義昭）が運営する「ぐろ～かるCM研究所」は、2015年の最も優れた地方CMに贈る「ぐろ～かるCM大賞2015」を発表した。

秀逸な地方CMを網羅的に取り扱ったインターネットサイト「ぐろ～かるCM研究所」

（<http://glocalcm.sakura.ne.jp/>）において、2015年にノミネートされたCM118素材のなかで、専門家による審査の結果、以下のようなCMの受賞が決定した。

■ ぐろ～かるCM大賞 2015 ■

宮崎県：五ヶ瀬ハイランドスキー場 2015



< <http://glocalcm.sakura.ne.jp/912> >

2013年に「天然なユキちゃん」の魅惑的な胸だけが登場する映像で、大きなインパクトを与えた宮崎の五ヶ瀬ハイランドスキー場。そのセクシーさゆえに放送規制がかかったことを自虐しつつ、2014年からは清楚な恋人「みなみ」ちゃんとの恋愛シリーズがスタート。日本で一番南のスキー場をしっかりと伝えていきます。2人の恋はずっと続くと思いきや、2015年では、なんと「新みなみ」ちゃんが登場し、雪上の恋は三角関係に。シリーズCMを最後まで見ると、切なさで涙してしまいます。

【授賞理由】

つつい見ってしまうCM展開のおもしろさもさることながら、そのなかで「日本で一番南のスキー場」「天然雪のやわらかさ」といった訴求ポイントを、しっかりと簡潔に伝えています。実は深い意味がちりばめられたコピーも秀逸で、CMにより惹きつけられるファクターにもなっています。また、CM撮影は、オンエア前なので雪のない時期ですが、ウインターシーズンのカット挿入の難しさをうまくカバーしつつ、雪が恋しくなる冬直前の季節感が出ている点も見逃せません。放送規制がかかった2013年以降も、「女の子の語りかけ→ゲレンデ滑走シーンのカット→ナレーション」という基本フォーマットを踏襲することで、蓄積効果で伝達効果の高いCMへと繋げています。

■ ぐろ～かるPR動画大賞 2015 ■

大分県：おんせん県おおいた 「シンフロ」



< <http://glocalcm.sakura.ne.jp/150085> >

「おんせん県おおいた」の定着を狙ったシリーズ第3弾のPR動画です。元・日本代表選手が率いるシンクロチームの、温泉を舞台とした華麗な演技に目が釘付けです。褐色の露天風呂からはじまり、山間の白濁湯、一人用の桶風呂、うたせ湯、果ては砂風呂まで、、、周りの入浴客の表情は茫然から歓喜へと変わっていきます。「日本一の温泉で、世界のみみんなを沸かせたい」そんな思いが伝わってくる秀逸なPR動画です。

【授賞理由】

なんといっても「温泉」での「シンクロ」という大胆で斬新なアイデアが高く評価されます。強い映像インパクトで、インターネット上での拡散が重要な地方PR動画にとっての「話題づくり」に成功しています。この映像のおもしろさは国内だけでなく、「日本一の温泉で、世界のみみんなを沸かせたい」というコンセプト通り、言語の壁を越え海外の人々にも十分通じるものです。また、大分への観光に繋げるにあたり、さまざまな特色を盛り込むのではなく「大分の魅力＝温泉」に絞り、映像の舞台として終始登場することでメッセージが強く明確なものになっています。

< 特別賞 >

■ ぐろ～かるCM・笑える賞 ■

石川県：石川県電気工場工業組合



< <http://glocalcm.sakura.ne.jp/150076> >

「あなたにしびれそう～♪ デ・ン・キ！」の歌とともに、いきなり始まる情熱のフラメンコ。踊っているのは作業着姿の男たち。ダンスもタップも合いの手も、実にテンポ良く見事です。さらに歌詞は、「石川の暮らしを～」「燃えたぎる熱い情熱で、守ってくれるの～」と続きます。「電気のプロが電気にしびれちゃダメだろう～」と思わず突っ込んでしまうのも、CMクリエイティブの”フックづくり”が「ピカ！イチ」だからでしょう。

■ ぐる～かるCM・おもしろキャラ賞 ■

静岡県：静岡セキスイハイム不動産 不動産情報サイトしずなび



< <http://glocalcm.sakura.ne.jp/101> >

耳は富士山、尻尾がウナギ、鈴はみかんと静岡の自慢が詰まったゆるキャラ「しずな～び」。なんと、尻尾のウナギにも「うなび」という名前が。耳に残る「♪し～ずし～ずし～ずなび～♪不動産売るならしずな～び」のシンプルな曲調と、可愛いキャラクターがマッチしています。富士山の形をした耳を触ると幸せになる・・・という噂もあるとか。静岡県への地元愛が感じられるキャラクターCMです。2015年には、ゆるキャラグランプリでご当地ゆるキャラ部門1位となった「出家大名家康くん」ともコラボして益々注目される存在です。

■ ぐる～かるCM・ナイスアイデア賞 ■

静岡県：静岡新聞SBS 「ドS。予行演習？」



< <http://glocalcm.sakura.ne.jp/150043> >

白昼堂々、銀行に押し入る黒づくめの男達。「大丈夫、ネットに出てるでしょ」と、銀行強盗演習であることを、警備員や窓口職員、支店長にまで納得させ、スムーズな強盗に成功。しかし、立ち去ろうとする彼らに子供たちが疑問を投げかけます、「それSBSでやってた?」「静岡新聞に出てた?」。「これまでの静岡新聞SBSを超えろ」の意味を含め「ドS。」宣言をした静岡新聞による、風刺の効いた気概のこもったCMです。

研究所所長 鷹野義昭メッセージ

昨年からスタートした「ぐる〜かるCM研究所」サイトによる、第1回の「ぐる〜かるCM大賞」を発表できることを、サイトを応援していただいている皆様方や動画をリンクさせていただいております広告主の企業様に深く感謝いたします。

最近、「テレビCMがつまらなくなった」という言葉がよく聞かれますが、地方のローカルCMや地方動画には、目を見張らされ、釘づけになり、爆笑してしまう、記憶に深く残るCMに出会うことがたびたびあります。その背景には、制作側の気持ちが伝わる身近さ、金にものを言わせないシンプルなつくり、完璧でないからこそ生み出される隙のある楽しさ、ローカルだからこそできる冒険や大胆さなど、様々な要因があると思います。

そして何より、制作側の心意気がCMにしっかりと込められて、コンセプトとして一本筋が通っていること。今回受賞のCM全てについて、こうしたことがまぎれもなく当てはまるものと考えております。

2016年は、300素材のCMノミネート数を目標して、頑張っていきたいと思います。応援のほどよろしく願いいたします。今後とも、サイト運営や様々な活動を通じて、地域振興やテレビCMの活性化の一助になれば幸甚でございます。

■ぐる〜かるCM研究所

日本全国の各道府県で放送されている秀逸なローカルCMを選定し、同サイトからYouTube動画へリンクする形で数多く紹介している。「笑える」「お色気」「インパクト」「おもしろキャラ」など、さまざまな観点から網羅的に閲覧が可能となっている。

「研究所所長」でCM戦略コンサルタントの鷹野義昭をはじめ、産業能率大学経営学部教授の小々馬敦氏、CMクリエイティブ・ディレクターの福谷匡史氏、さらには産業能率大学の女子大生たちを「特任研究員」として、ローカルCMを「総合」「地域密着度」「インパクト度」「クオリティ度」の4つの軸に対し5段階で評価している。

■サイト概要

名称：ぐる〜かるCM研究所

URL：<http://glocalcm.sakura.ne.jp/>

オープン日：2015年9月6日

■鷹野義昭プロフィール

株式会社テムズ 代表取締役 / 日本広告学会正会員

大手広告代理店のマーケティングプランナーを経て、現職。1000素材を超えるテレビCMの戦略立案・分析・調査に25年以上携わる。著書に「CM好感度No.1. だけどモノが売れない謎 ~明日からテレビCMがもっと面白くなるマーケティング入門~」(ビジネス社)。「ファインドスター広告ニュース」「ビジネスジャーナル」コラム、雑誌「宣伝会議」等執筆多数。専門家コメンテータとして、フジテレビ「スーパーニュース」、テレビ朝日「中居正広の『「ミになる図書館』」など出演。大学・企業等においてセミナー・講義の実績多数。

【本件の取材・掲載に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

株式会社テムズ（担当：石川）

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5-4F

電話番号：03(3818)0254 FAX 番号：03(3818)0640 MAIL：info@tems.ne.jp